

令和5年度

# 静岡大学技術職員 採用案内



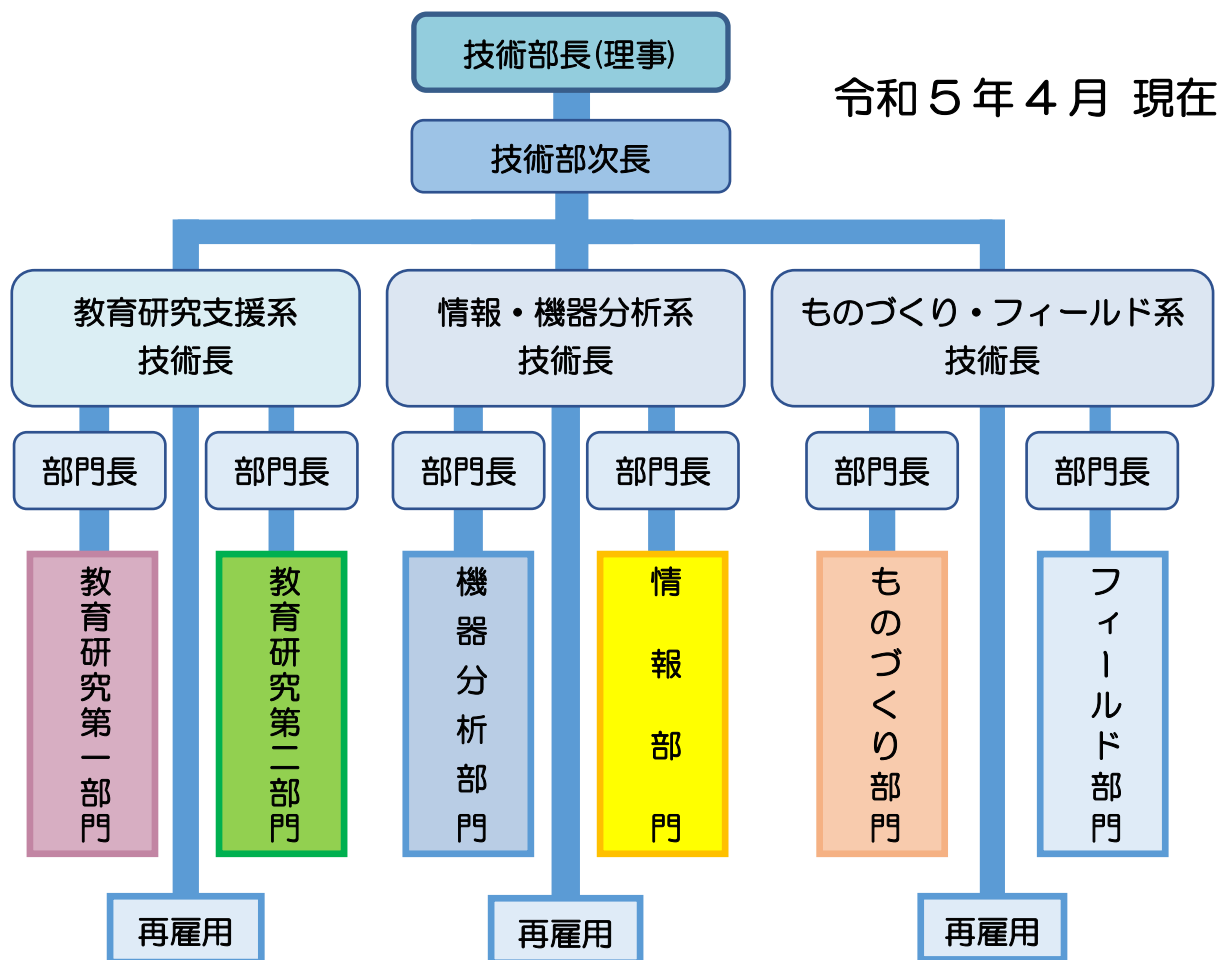
静岡大学技術部

## 静岡大学技術部

静岡大学技術部は、全学の教育研究支援系技術職員を集約した技術集団です。静岡大学のビジョンである「自由啓発・未来創成」に基づき、教員や事務職員と協働し、各技術職員の持つ技術の提供により、静岡大学の教育・研究における質の向上を目指しています。

## 技術職員とは

技術職員は、それぞれの専門技術を活かし、技術的立場から教育・研究の支援等を行います。静岡大学の場合、その分野、業務内容は多岐に渡り、技術職員の活躍の場は全学部・研究科・研究所、そして情報基盤センターといった全学の附属施設等にも及んでいます。



静岡大学技術部組織図

## 教育研究第一部門

教育支援業務として工学部のロボットを使った基礎実習、物理・化学及び化学・生物実験、各学科の学生実験の指導、実験教材の開発、研究の技術支援業務、特許の出願等の知的財産業務やその技術移転等の産学連携推進業務、計測機器の維持管理、地域貢献業務として出張実験や地域のものづくり講座、テクノフェスタ in 浜松への出展等、その他技術相談も行っています。

## 教育研究第二部門

教育支援として実験・実習の指導、教材作成・開発などを行っています。研究支援として機器分析、データ解析及び装置管理などに携わっています。その他、地方公共団体や科学館などと連携して調査やイベント開催などの地域貢献活動にも積極的に取り組んでいます。

## 機器分析部門

校内の教育研究施設において技術支援業務を行っています。共同利用施設の研究設備や分析・計測機器の維持管理・運用と研究・教育支援業務を担っています。

## 情報部門

静岡キャンパス・浜松キャンパスのネットワーク支線を含めた情報基盤システム運用管理に関する業務支援、静岡大学の各種サーバーの運用・管理業務、実験・演習・講義補助等の教育・研究支援業務、学生や教職員に対するPC全般に関する補助業務を行っています。

## ものづくり部門

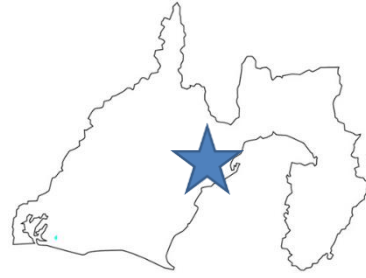
工学部次世代ものづくり人材育成センターにて、ものづくりを基本とした支援と運営業務等を担っています。全学に向けて研究装置製作や修理、部品加工、技術相談といった支援や、学生の機械工作実習、安全講習等を行っています。

## フィールド部門

地域フィールド科学教育研究センターにおいて、教育研究の支援と、フィールドの管理業務および生産・出荷業務などを行っています。センターは大きく分けて、持続型農業生態系部門(藤枝フィールド)と森林生態系部門(天竜フィールド、南アルプスフィールド)があります。農学部のみならず全学および他大学への実習、また公開講座や技術相談、出張授業など地域貢献においても活躍しています。



教育研究第二部門  
令和3年度採用



■あなたの仕事を教えてください

主業務は学生実験支援と関係する設備や備品の管理、農学部併設されている圃場等の施設や周りの管理を行っています。学生実験は農学部の化学実験・生物学実験・環境基礎実験・植物バイオサイエンス実験を担当しており、実験の準備や指導などを行っています。また、実験に使用する植物を培養するためのガラス温室の管理も行っています。施設の管理は学生実験や研究棟に使用されている施設の除草作業や周辺にある竹林の伐採などを行っています。

その他には農学部に関わる運営の補助を行う時があります。

■仕事の魅力はなんですか

学生の学びたい意欲を手助けできるところに魅力を感じます。実験を行うだけであれば実験書を見るだけで体験はできます。しかし、行っている実験で目の前の現象はどういう理屈で起きているのかは知識が無

ければわからない部分が多いです。学生のわからないという質問に対して単純に答えを教えるのではなく、そこまで導くヒントを与え、答えにたどり着くときには現象を理解できている状況に持っていくことができるとき、内容を理解してもらえたと嬉しく思います。やはりこの瞬間がやりがいであり魅力であると感じます。

■働く上で心がけていること

自分の武器を身に着けることです。教育の現場ということもあり、アンテナを広げていないと古い情報のまま取り残され、学生に適した指導を行えません。ゆえに常に新しい知識を身に着けることが求められます。しかし、それだけで終わると同じことができる人が量産されていくだけなので、得意分野を作り、あの事ならあの人に聞けばわかる、という認識を周りに持ってもらえるようになるのが理想だと考えています。



教育研究第二部門  
令和3年度採用



■あなたの仕事を教えてください

教育支援としては、主業務先である農学部での学生実験指導補助を行っています。学生に器具の使い方や手順のアドバイスを除く他、実験で使用する試薬や器具の準備、メンテナンスなどもしています。研究支援としては、自身の学生時代の専門分野を生かして、教育学部における研究実験の一端を手伝わせてもらっています。また、昨年は地域貢献として、静岡市の科学館でのイベント出展に従事しました。

■仕事の魅力はなんですか

自分の知識や出来る事が増えていくことに魅力を感じています。学生実験では、基礎的なことから専門性の高い内容まで、学生から様々な質問が飛んできます。中には、こ

れまで自分では特に疑問に思わなかったような内容のものもあり、学生を支援する立場ではあるものの、自分にとっても勉強になることが沢山あります。他にも、分析機器の講習会や技術部内で開催される技術研修などを通して、専門外の知識についても多く学べる機会がある点は非常にありがたいと思っています。

■働く上で心がけていること

分からない事、疑問に思ったことはすぐに解消するようにしています。先輩職員や教員に尋ねたり自分で調べたりして、自分で理解・納得できるまで突き詰めて勉強しています。

他にも、覚えておくと便利なことや重要なことは全てメモを残すようにしています。

学生実験を含め、自分の業務は1年サイクルでほぼ同じことをするものが多くあります。1年経つと忘れてしまうこともあるのですが、残したメモを見直して思い出した

り、さらにそこから改善点が見つかったりする為、『書いておいてよかった』と感じることが多くあります。



情報部門  
令和3年度採用

■あなたの仕事を教えてください

情報学部における教育・研究支援業務および補助業務のうち、主に補助業務を担当しています。

補助業務では、教職員や学生のPC・ネットワークのトラブル対応、共有プリンタの設定、新規PCのセットアップ、貸出機材の管理・運用を行っています。また、情報学部に所属する教職員や学生が所有する情報学部アカウント・パスワードの管理なども行っています。

■仕事の魅力はなんですか

各種トラブル対応の業務などを通じて、日々、新しい知識・技術を習得できること、そして、習得した知識・技術を他の教職員や



学生に還元できることです。習得した知識・技術を活かしてトラブルを解決できた際に、習得した知識・技術を還元できたことを実感し、やりがいを感じます。

■働く上で心がけていること

常に好奇心をもって情報収集をおこなうことです。情報分野は進歩が目覚ましく、つい先日収集した情報が既に古くなっており役に立たないということも多々あります。そのため、日々研鑽を積み、最新の情報を収集し続ける必要があると感じています。

また、収集した情報を共有するよう心がけています。情報を共有することで新たな知見を得ることができ、業務を効率的に進めることができます。



教育研究第一部門  
令和3年度採用

■あなたの仕事を教えてください

主に工学部1年生を対象としたものづくり基礎実習に対する教育支援業務を1年間通じて行っています。前期の実習では、デジタル回路・プログラミング・基盤製作に関する実習、後期の実習では、前期で学習したことを踏まえて1人1台のロボットを作り上げた後、班員全員で取り組むロボットコンテストに向けた実習を行っています。これらの実習の準備・進行・片付け・実習で使用する教材の開発等が主な業務です。その他にも、大学周辺の小中学生・高校生に対してロボット教材を利用した、ものづくりの教育支援活動等を行っています。

■仕事の魅力はなんですか

実習では学生との距離が近く、学生の声を肌で感じることが出来ます。特に、面白そうに実習を行ってくれる学生がいると、こちらも楽しくなります。技術者としての楽しさと教育者としてのやりがいの両方を感じることが出来るのがこの仕事の魅力だと思います。

■働く上で心がけていること

初めての一人暮らしや新しい生活環境の中で、学びに対するモチベーションも不安定になりやすい1年生を対象に実習を行っています。そのため、ちょっとした対応の違いで学生がモチベーションを変えることが





あります。学生と間近で接する職員だからこそ、学生のことをよく見て、何を考えているか意識しながら接するように心がけています。また、私は製造業から転職して今

の職に就きました。もし、そのまま働いていたら後輩としてどんな人材が欲しいか、学生時代にどんな経験をしてきて欲しいか、考えながら教えています。



教育研究第一部門  
令和4年度採用

■あなたの仕事を教えてください

主な業務としましては、一年間を通して化学バイオ工学科と電子物質科学科の学生実験指導補助に携わっており、試薬の準備や実験時のアドバイスなどを行っております。また、工学部2年生の化学実験も担当しています。多い時には週に4回実験があるため、実験関係が業務の軸となっています。

その他日常業務としまして、所属する建物内のネットワーク管理なども担当しています。

■仕事の魅力はなんですか

学生時代に培った技術や経験を活かして、学生のスキルアップに貢献できることです。実験序盤には何も出来てなかった学生が、回を重ねるごとにスキルアップし、実験終



盤時にはてきばきと実験を出来るようになった姿を見れた時に、非常にやりがいを感じました。

また、技術研修や技術報告会にて専門外の知識や技術についても学べる機会があるため、自分のスキルアップも出来るのがこの仕事の魅力だと思います。

■働く上で心がけていること

学生の考える力を伸ばすということを中心に掛けながら、業務をしております。学生実験は授業で学んだ知識を実行出来る唯一の場です。ただ指導書を読みながら実験を進めるだけでは、実験を行う意味がありません。そのため、実験中に議論を交えながら実験進行をすることで、学生の考える力が伸びるよう取り組んでいます。



情報部門  
令和4年度採用

■あなたの仕事を教えてください

主に実験実習の教育支援業務や日常業務に関わっています。教育支援業務では、情報学部の実験の技術的なサポートを行っております。実験機材や教室設備の管理、実験中の学生からの質問などの対応をおこなっています。

日常業務では、教職員や学生のPCトラブル等へ対応します。ネットワーク接続や情報学部独自のシステムに関する問い合わせへの対応もおこなっています。また、情報学部の貸出物品の管理や手続きもおこなっ



ています。

■仕事の魅力はなんですか

自分が今まで経験したことが直接業務に活かせること、更に、業務を通じて自身の成長を実感できることです。例えば、日常業務で自身が遭遇したPCトラブルとその対応経験は、教職員や学生から似たようなトラブル相談の際に活かされます。私自身が情報系の出身ということもあり、今まで培ってきた経験や知見が教職員や学生の助けとなったときは、達成感とやりがいを感じます。

■働く上で心がけていること

配属時の上長の「1日1つ何か新しいことを掴むように」という言葉を合言葉に業務に取り組んでいます。特に情報部門では日々の経験や知識が重要です。また、教職員や学生と関わる機会も多いため、単純な業

務知識以上に、人と関わりながら物事を進める経験も大切であると考えています。時に業務で失敗することもあります。それも経験として、今後の業務に活かすように心がけています。



ものづくり部門  
令和4年度採用



■あなたの仕事を教えてください

次世代ものづくり人材育成センターにて、研究室からの部品や試験片の製作依頼を請け負う委託業務、および学生に工作機械の使い方を指導する工作実習の、主に二つの業務を担っています。委託業務は研究室から受け取った図面から、使う工具や機械を決め、作業計画を立てた上で製作に取り掛かります。工作実習では学生にフライス盤を担当しており、分かりやすく、かつ安全に使い方を習得できるように教えています。

■仕事の魅力はなんですか

研究室からの依頼は様々であり、大抵の場合、違った製品を作ることになります。そのため、使用する機械などの作業手順も違うものになりやすく、単調な仕事になり

にくいことが魅力だと考えています。また、同じような依頼があったとしても、必ずしも同じ手順で進める必要はなく、改善できそうな部分は自分なりに工夫して改善していることも魅力の一つだと考えています。

■働く上で心がけていること

機械による加工作業においては、正確性・計画性・安全性の三つが大事だと考えています。きちんと図面を見て寸法や穴の位置を確認し、ミスのないように作業すること、依頼主が受け取りたい期日までに完成させるためにスケジュールをたてること、ケガをしたり機械や部品などを破損させないために注意して作業することの三点について心がけて仕事をしています。

## メモ

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

私達と一緒に静岡大学を盛り上げ  
未来を担う人材を育て地域とともに歩む  
好奇心にあふれ情熱をもっている  
技術職員を求めています！







## 静岡大学技術部

### 静岡キャンパス

〒422-8529 静岡市駿河区大谷 836 TEL:054-238-3621

### 浜松キャンパス

〒432-8561 浜松市中区城北 3-5-1 TEL:053-478-1679

URL: <https://www.tech.shizuoka.ac.jp/>